

平成25年度 事業別予算概要

事業名	20551	広報広聴事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画	市長公約	11 多様な媒体を活用して行政情報の公表、公開、提供を行い、情報公開日本一を目指します ・市民が知りたい行政情報を迅速に得られるよう、提供媒体の整備を行います
種別				款	2	総務費		分野	1	市民参画			
担当課	企画管理部 企画課	内線	2468	項	1	総務管理費	基本施策	1	市民と行政が協働してまちづくりに取り組む	H25実施計画額	92,500	千円	
				目	5	広報費	施策	1	行政情報の提供				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市民生活に役立つ情報や必要な情報を容易に得ることができる ・市政運営への理解を深め、行政との信頼関係の構築を図る ・市政に対する意見を容易に述べられる機会ができる	概要	事業の実手法(手段)	・「広報たかやま」、地域FM放送により各種行政情報を提供する ・CATVの自主放送番組により各種行政情報を提供する(※H22までは情報施設整備事業で実施) ・連合町内会単位で「市民と市長の対話集会」を開催し、直接市民の声を聴く ・政策検討市民委員会を開催し、市政への提案・提言を受ける(※H23までは企画関係事務費で実施)
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	「広報たかやま」を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布 ・地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送 ・CATVの自主放送チャンネルにて「はい市役所です」、「飛騨高山情報局」のほか行政情報番組を制作・放送 ・連合町内会単位で市民と市長の対話集会を開催(7~9月)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	広報たかやま掲載記事数	件	目標値				1,450
		実績値	1,249	1,405				
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	FMラジオ放送回数	回	目標値	4,320	4,320	4,320	4,320
		実績値	4,418	4,882				
	算出根拠等			達成率(%)	102	113		
	活動指標	CATV放送本数	本	目標値				180
		実績値	128	178				
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	市民と市長の対話集会の開催回数	回	目標値	21	21	21	21
		実績値	21	21				
算出根拠等			達成率(%)	100	100			
成果指標	市民と市長の対話集会への参加者	人	目標値				1,000	
	実績値	853	1,012					
算出根拠等			達成率(%)					
成果指標	市民と市長の対話集会での意見数	回	目標値				350	
	実績値	405	368					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・様々な情報提供媒体を活用し、それぞれの特性を活かした効果的な行政情報の提供を行っている ・市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会の開催をはじめ、様々な手法で市民の意見を聴く機会の充実を図っている							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民がどのような情報をどのような形で得ることを望んでいるのかを詳細に捉えることにより、さらに情報提供の充実を図ることが可能となる ・広報広聴については、事業担当課と一層の連携を図りながら、提供情報や市民の意見を聴く機会の充実を図っていく必要がある
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・CATV放送番組の一部について、インターネット(ユーチューブ)での配信を実施 ・市民と市長の対話集会については、いただいた意見等を来年度の事業に反映できるよう開催時期を前倒して実施 ・広報たかやまの中で、はがきによる意見募集を実施(7月15日号のバス運行に対する意見募集など)	
次年度の実施方針	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き時代や市民ニーズにあった広報の手法について検討していく ・一層の市民の声を聴く機会の充実を図る
	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	66,903	92,196	93,964	93,944
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	713	988	1,012	1,012
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	広報紙やラジオ、CATVなどの媒体を利用し、市政情報を市民に提供する。 市長が地域へ伺い、将来に向けたまちづくりや地域が抱える課題などを市民と直接語り合う「市民と市長の対話集会」を開催する。 市の事業について市民目線で必要性などを検証し、創設や改善、廃止について提案・検討する「政策検討市民委員会」を開催する。	要求のポイント	広報紙やラジオ、CATVなど各種広報媒体を利用した市政情報の着実な配信に必要な経費を計上 政策検討市民委員会の開催に必要な経費を計上	事業実施の課題	市民が知りたい行政情報を、望まれる手段により分かりやすく迅速に提供する手法の検討 広報紙を利用したアンケートや「市民と市長の対話集会」など、広聴業務の充実と政策への着実な反映
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		93,964	93,944	△ 20	93,904	93,904	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,200	240	△ 960	240	240		
	一般財源	92,764	93,704	940	93,664	93,664		

平成25年度 事業別予算概要

事業名 20900 事務	総合計画関連事業費			会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画	市長公約	
	企画管理部 企画課				2	総務費		分野	2	行政財運営			実施計画事業
					1	総務管理費		基本施策	1	簡素で効率的な行政財運営を行う	H25実施計画額		
	9	企画費	施策		1	計画行政の推進							
担当課	企画管理部 企画課			内線	2436								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・第七次総合計画の着実な推進により、都市像「やささと活力にあふれるまち『飛騨高山』」を実現する	概要	事業の実手法(手段)	・第七次総合計画の進捗管理及び実施計画の見直し・修正を行う ・事業評価の実施による事業内容の点検と改善を行う
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・後期実施計画のローリング ・事業評価の実施及び公表 ・事業評価の実施手法の見直し(対象事業の拡大、評価基準の見直しなど)							
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	総合計画実施計画の見直し実施回数	回	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1				
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	活動指標	総合計画実施計画の追加・見直し事業数	事業	目標値				
		実績値	82	56				
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	事業評価実施回数	回	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1				
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	活動指標	事業評価の実施対象事業数	事業	目標値				
		実績値	104	813				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・事業担当課との継続した連絡調整の実施により、第七次総合計画の着実な推進に寄与している							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・第七次総合計画の成果等を検証する上では、政策や施策についても評価していく必要がある ・第三者評価を取り入れた行政評価制度の導入を行う必要がある
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・事業評価については、評価内容の充実を図るため、評価シートを見直す(6月)とともに全庁的な研修会を開催(7月) ・PDCAサイクルの実効性を高めるため、評価スケジュールを前倒して実施	
次年度の実施方針	維持・改善	・社会情勢の変化や住民ニーズに対応しながら、第七次総合計画の着実な推進のため、引き続き計画の進捗管理と修正・見直しを実施していく ・事業評価については、より実効性を高められるよう、引き続き検証・改善を加えながら継続する ・第三者評価を視野に入れ第七次総合計画の成果を検証する ・第八次総合計画の策定に向けた具体的な取組みをすすめる
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	(担当課評価に同じ)
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 246	126	453	11,096
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3	1	5	119
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容 ・第七次総合計画の進捗管理及び実施計画の見直し ・事業評価の実施 ・施策評価の実施 ・第八次総合計画の策定	要求のポイント ・第八次総合計画策定や施策評価等のための外部有識者組織(仮称)の設置・運営に必要な経費を計上 ・第八次総合計画策定のための市民アンケート実施に必要な経費を計上	事業実施の課題 ・効果的な施策評価制度の確立
--	---	---------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	453	11,096	10,643	11,096	11,096	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	0	0	0				
県支出金	0	0	0				
その他	0	0	0				
一般財源	453	11,096	10,643	11,096	11,096		

平成25年度 事業別予算概要

事業名 20905 種別 1	企画関係事務費 (誰にもやさしいまちづくり)		予算 内線 2436	会計 1	一般会計	総合計画	政策 2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約
	款 2	総務費		分野 1	地域福祉		実施計画事業				
	項 1	総務管理費		基本施策 2	誰もが安心して暮らせる環境をつくる		H25実施計画額	千円			
	目 9	企画費		施策 3	誰にもやさしいまちづくり						
担当課	企画管理部 企画課										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・住む人が住みやすく、住み続けたいと思うまちが訪れる人にとっても行きやすいまちであるという考え方「住みよいまちは、行きよいまち」を市民・事業者・行政が共有し、すべての人々にとってやさしいまちの実現を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設やサービスを提供する事業所を「誰にもやさしいまちづくり条例」に基づいて認定
	対象者数	92,861 人		・誰にもやさしいまちづくり推進会議を開催する			・啓発用パンフレット(一般向け)、学習用パンフレット(市内小学校6年生向け)を作成し、周知する

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(3月)							
	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設・サービスの推進事業者の認定 啓発用パンフレット及び学習用パンフレットの配布 啓発用パンフレット及び学習用パンフレットについて、内容を最新のバリアフリー取組事例に更新 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	だれにもやさしいまちづくり推進会議開催数	回	目標値	1	1	1	1
		実績値	0	1				
	算出根拠等			達成率(%)	0	100		
	活動指標	セミナー、視察における講師対応回数	回	目標値				
		実績値	13	12				
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	啓発用パンフレット作成部数	部	目標値				
		実績値	0	2,100				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果指標	建築確認における新バリアフリー法への適合件数のうちだれにもやさしいまちづくり条例に基づき審査対象を拡大したもの	件	目標値				
		実績値	7	10				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果指標	誰にもやさしいまちづくり条例新規認定事務所数	件	目標値	7	7	7	7
		実績値	5	4				
	算出根拠等			達成率(%)	71	57		
成果指標	誰にもやさしいまちづくり条例認定事務所数(累計)	件	目標値					
	実績値	32	36					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	誰にもやさしいまちづくり条例に基づき、庁内関係各課において、ユニバーサルデザインに配慮した各種施策が実施されている							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・誰にもやさしいまちづくりの推進に向け、普及啓発の手法を充実させる必要がある
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・普及啓発の方法について検討中	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・引き続き啓発用パンフレットを作成し活用する ・引き続き誰にもやさしいまちづくり条例認定事業者数を増加させるためのきっかけづくりや誘導策等を検討する
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	381	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	4	5	5
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	バリアフリーのまちづくりの推進 ・啓発用パンフレット、学習用パンフレットの作成 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催	要求のポイント	パンフレット作成、推進会議開催に必要な経費を計上	事業実施の課題	バリアフリーのまちづくりをさらに推進するための新たな取り組み
------	--	---------	--------------------------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	420	420	0	420	420		

平成25年度 事業別予算概要

事業名 20905 事務 3	企画関係事務費 (誰にもやさしいまちづくりを除く)	企画管理部 企画課	内線 2436	予算	会計 1 一般会計	総合計画	政策 7 構想の着実な推進をめざして	根拠計画	市長公約	人と人、市民と行政、地域と地域がつながり、互いに話し合える場を積極的に つくります ・政策決定に市民の積極的な参加を促進するため、政策検討市民委員会を創 設し、行政の事務事業や各種条例規則等の必要性、有効性を検証し、見直し を提案できるようにします
					款 2 総務費		分野 2 行政財運営			
					項 1 総務管理費		基本施策 3 地域全体の調和のとれた発展を図る			
					目 9 企画費		施策 2 あらたな広域連携の推進			
担当課							H25実施計画額	8,100 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・他の自治体や大学等との連携を進め、多様化する行政課題の解決をはかる ・市の政策や事業等に市民の意見を反映させる	概要	事業の実施 手法(手段)	・高山市、飛騨市、白川村による飛騨地域広域行政協議会を開催し、各自治体間における喫緊の課題等について情報共有を行うなど、協 議会加盟自治体と連携して共通課題に取り組む ・大学と連携協定を締結し、本市だけでは対応できない課題について連携して取り組む ・政策検討市民委員会を開催する(※H24からは広報広聴事業費で実施)
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・飛騨地域広域行政協議会を開催 ・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会を発足 ・岐阜大学フェアin高山を開催 ・飛騨地域三市一村と愛知大学との連携協定締結に向け、関係団体と協議		・政策検討市民委員会の設立・開催				
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	飛騨地域広域行政協議会開催回数	回	目標値	1	2	1	1
	算出根拠等		実績値	1	2		
活動 指標	政策検討市民委員会の開催回数(全体会議、分科会の計)	回	目標値				
	算出根拠等		実績値		25		
活動 指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催イベント開催数	回	目標値		7	7	7
	算出根拠等		実績値		7		
成果 指標	岐阜大学フェアin高山への来場者数	人	目標値		500		500
	算出根拠等		実績値		321		
成果 指標	岐阜大学フェアin高山の来場者アンケートにおける満足度	%	目標値		80		80
	算出根拠等	「大変満足」、「満足」の人数/回答人数	実績値		73		
成果 指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催イベントへの来場者数	人	目標値		42,000	46,000	46,000
	算出根拠等		実績値		46,410		
補足			達成率(%)		111		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・大学連携についてさらなる充実を図る必要がある ・各自治体間の連携について、さらに効果的な手法を検討する必要がある
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会の事業については、一部の事業を見直し(「アプリコキッズ」を廃止し、「オープンカレッジin飛騨」を新設) ・「オープンカレッジin飛騨」については、開催にあたり連携協定締結大学に参画を要請 ・飛騨地域三市一村として愛知大学と連携協定を締結し、飛騨地域の市村と大学が連携しながら地域課題に取り組む枠組みを構築	
次年度 の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き市内各部署とともに、大学連携事業の充実を図る ・各自治体間の連携について、連絡調整体制を強化し、広域的課題を解決するための効果的な手法を検討する
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	16,005	8,615	8,491	8,612
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	171	92	91	93
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	要求のポイント	事業実施の課題
・飛騨地域広域行政協議会の開催 ・飛騨・世界生活文化センターの活用 ・協定締結大学との連携事業の推進(岐阜大学フェアin飛騨高山2013の開催等)	・岐阜大学との包括連携協定に基づく事業として隔年で開催している岐阜大学フェアin飛騨高山に必要な経費を計上	・大学連携の内容の更なる充実 ・各自治体との更なる効果的な連携手法の検討

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,491	8,612	121	8,611	8,611	・積算内容を精査 ・岐阜大学フェアin飛騨高山の隔年開催による経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	8,491	8,612	121	8,611	8,611		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	25100	統計調査事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画		市長公約
	課			2	総務費		分野	2	行財政運営			
担当課	企画管理部 企画課		予算	項	5	統計調査費	基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う	実施計画事業	統計調査事業	
	内線			目	1	統計調査総務費	施策	1	計画行政の推進		H25実施計画額	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 統計的視点から市の現状を理解する 統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する 政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する 各種統計における高山市の数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員の確保 統計調査員研修会の開催 「高山市のあらまし」の印刷・発行、市ホームページでの公表 「高山市のあらまし」の掲載項目の見直し 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	「高山市のあらまし」の発行回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
活動指標	「高山市のあらまし」の発行部数	部	目標値	150	150	150	150
			実績値	150	150		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
活動指標	統計調査員確保数	人	目標値	578	89	70	141
			実績値	578	89		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
活動指標	統計調査員研修会実施回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 「高山市のあらまし」については、さらに見やすくわかりやすい工夫する必要がある 各種統計調査結果の速報について検討する必要がある
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 「高山市のあらまし」について、掲載項目の検討・変更を行った 平成22年国勢調査の速報結果について、使用頻度が高いと考えられる項目を整理し、市HPに掲載した 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する 「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすい工夫する 各種統計の速報について検討する
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	113	131	140	140
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	2	2
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	統計調査業務の円滑な遂行を図る 各種統計調査結果を取りまとめ分析し、行政運営や施策の立案に必要な基礎資料を得る ・「高山市のあらまし」発行 ・統計調査員確保対策事業(統計調査員の資質向上のための研修会開催等)の実施	要求のポイント	円滑な統計調査業務の実施や「高山市のあらまし」発行に必要な経費を計上	事業実施の課題	調査結果のさらなる有効活用
------	--	---------	------------------------------------	---------	---------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	140	140	0	140	140	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	43	27	△16	27	27		
その他			0				
一般財源	97	113	16	113	113		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	25600	統計調査費		会計	1	一般会計	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画		市長公約
種別				款	2	総務費	分野	2	行財政運営	実施計画事業	統計調査事業	
担当課	企画管理部 企画課		内線	項	5	統計調査費	基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う	H25実施計画額	9,800 千円	
		2437	目	2	諸統計調査費	施策	1	計画行政の推進				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	事業の実施手法(手段)	国・県が行う統計調査事務を受託し、滞りなく実施する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	実績値	目標値	実績値
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)				8,750
受益者1件当たり(円)	(A/B)				94
受益者	市民(4月1日現在)	(B)			92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る ・住宅・土地統計調査 ・工業統計調査 ・岐阜県輸出関係調査 ・2015農林業センサス(区域認定・調査区設定) ・商業統計調査(準備調査)	要求のポイント	各統計調査業務の円滑な実施に必要な経費を計上	事業実施の課題	各統計調査の十分な実施体制の構築
------	---	---------	------------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,000	8,750	3,750	8,200	8,200	・積算内容を精査 (要求後に工業統計調査の実施方法が全数調査から抽出調査に変更)	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	5,000	8,750	3,750	8,200	8,200		
その他			0				
一般財源			0				